

### 第3章 環境大気測定車による調査結果

### 第3章 環境大気測定車による調査結果

石川県における大気汚染の状況は、一般環境大気測定局を設置して常時監視を行っているが、一般環境大気測定局を設置していない地域における大気汚染の状況の把握や住宅地の郊外への広がり、更には新たな道路の整備などによる影響を把握するため、環境大気測定車「大気くん」を県内に設置し、定期的に大気の状態を調査している。

表3-1 環境大気測定車「大気くん」の概要

車 体	トヨタ GE-RZU300
全長×全幅×全高	5,290mm × 1,940mm × 3,000mm
車 両 総 重 量	4,175kg
エ ン ジ ン	ガソリン (総排気量 2,693cc)
主 要 設 備	風向風速計用電動式ポール (地上 10m) 試料空気採取装置及び試料空気採取管 冷暖房装置・換気扇・測定時安定用油圧ジャッキ 屋上昇降用はしご・耐雷トランス
整 備 年 月	平成 12 年 10 月

表3-2 環境大気測定車「大気くん」に搭載の大気汚染測定機器

二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	炭化水素
東亜 GFS-327	東亜 GLN-345	東亜 GFC-351	東亜 GUX-353	東亜 GFS-327	東亜 GHC-255

注) メーカー名 東亜：東亜ディーケーケー (株)

平成 23 年度は、表 3-3 に示す 3 地点において大気汚染の状況について測定を行った。

表3-3 環境大気測定車設置場所

測定点	所在地	設置場所	調査期間	測定日数
能 登	能登町宇出津新港 3丁目7番地	石川県 水産総合センター	7月5日～9月2日	60
志 賀	志賀町末吉千古1番地1	志賀町役場	9月21日～11月17日	58
野々市 太平寺	野々市市太平寺4丁目164	旧石川県立養護学校	11月18日～12月19日	32

調査結果については、環境基準の達成状況 (短期的評価) を○で達成、●で非達成を示した。

また、光化学オキシダントについては、昼間 (5時～20時) の測定結果を示した。

非メタン炭化水素については、1時間値の最高値欄は6時～9時までの3時間平均値の最高値を、期間平均値の欄は6時～9時までの3時間平均値の平均値を、1時間値の最小値欄は、6時～9時までの3時間平均値の最小値を示した。

## 1 能登測定点

能登測定点は、能登町市街地の大気環境の状況を把握するため、石川県水産総合センター敷地内に設置した（図3-4参照）。

測定点の周囲の状況は、南側は日本海に面し、北側に市街地が広がっており、北側近傍に県立能登高等学校、東側に宇出津新港、北東側に宇出津港が位置する。国道249号が市街地外周を沿うように東西に横切っている。市街地の外側は山林が広がっている。

測定結果は表3-4のとおり全ての項目について、短期的評価による環境基準を達成しており、清浄な大気であると考えられる。

表3-4 能登測定点の測定結果

項目	測定結果			短期的評価
	1時間値最高値	期間平均値	1時間値最小値	
二酸化硫黄 (ppm)	0.005	0.000	0.000	○
一酸化窒素 (ppm)	0.013	0.000	0.000	—
二酸化窒素 (ppm)	0.020	0.001	0.000	○
一酸化炭素 (ppm)	0.3	0.2	0.1	○
光化学オキシダント (ppm)	0.059	0.033	0.004	○
非メタン炭化水素 (ppmC)	0.12	0.09	0.06	—
浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.082	0.022	0.000	○

また、測定結果を近傍の七尾測定局及び能登島測定局と比較した（図3-1）。能登測定点は比較した2つの測定局とほぼ同じ程度の濃度であった。

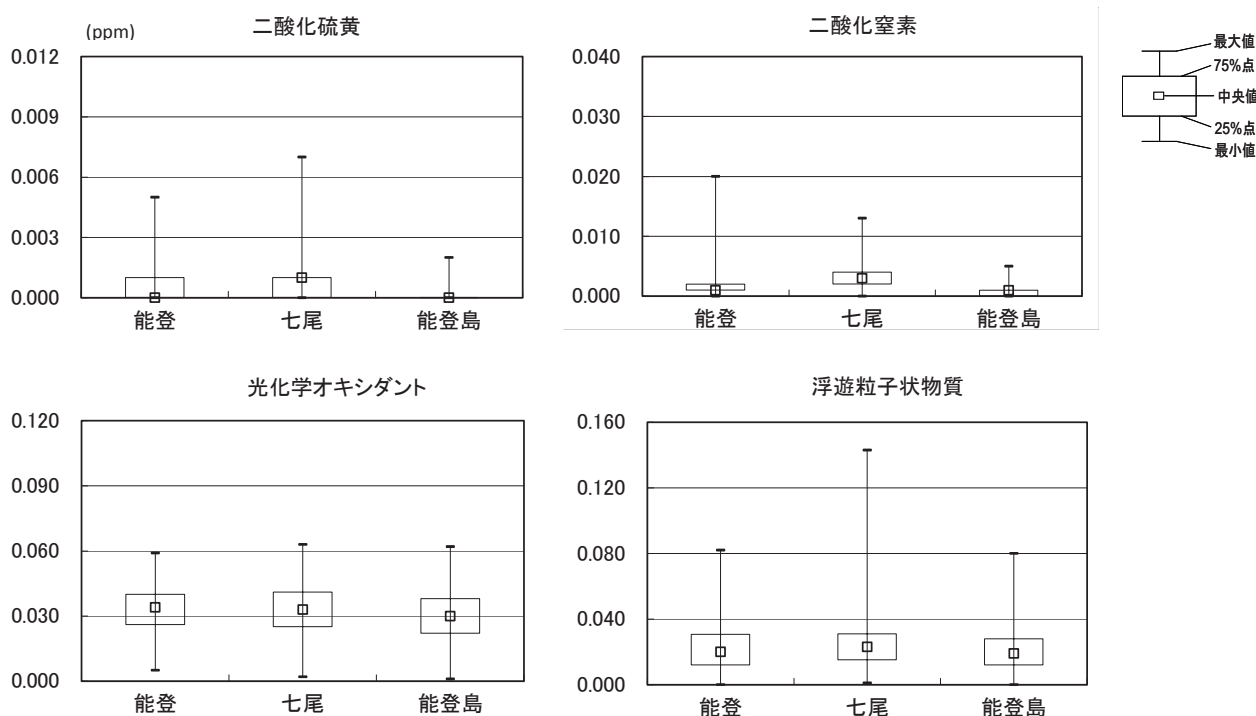


図3-1 近傍の一般環境大気測定局の測定値との比較

## 2 志賀測定点

志賀測定点は、志賀町市街地の大気環境の状況を把握するため、志賀町役場敷地内に設置した（図3-5参照）。

測定点の周囲の状況は、市街地が広がっており、北側近傍に於古川、東側約200mに国道249号、西側約1,200mの位置に海岸が存在する。市街地の外側は水田が広がっている。

測定結果は、表3-5のとおり、県内の他の測定局と同様に光化学オキシダントについて短期的評価による環境基準を超過したが、その他の項目については短期的評価による環境基準を達成し、その値も低く、清浄な大気であると考えられる。

表3-5 志賀測定点の測定結果

項目	測定結果			短期的評価
	1時間値最高値	期間平均値	1時間値最小値	
二酸化硫黄 (ppm)	0.004	0.000	0.000	○
一酸化窒素 (ppm)	0.014	0.001	0.000	—
二酸化窒素 (ppm)	0.015	0.004	0.000	○
一酸化炭素 (ppm)	0.5	0.2	0.1	○
光化学オキシダント (ppm)	0.073	0.032	0.001	●
非メタン炭化水素 (ppmC)	0.17	0.11	0.06	—
浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.074	0.014	0.000	○

また、測定結果を近傍の七尾測定局及び羽咋測定局、鹿島測定局と比較した（図3-2）。志賀測定点は比較した3つの測定局とほぼ同じ程度の濃度であった。

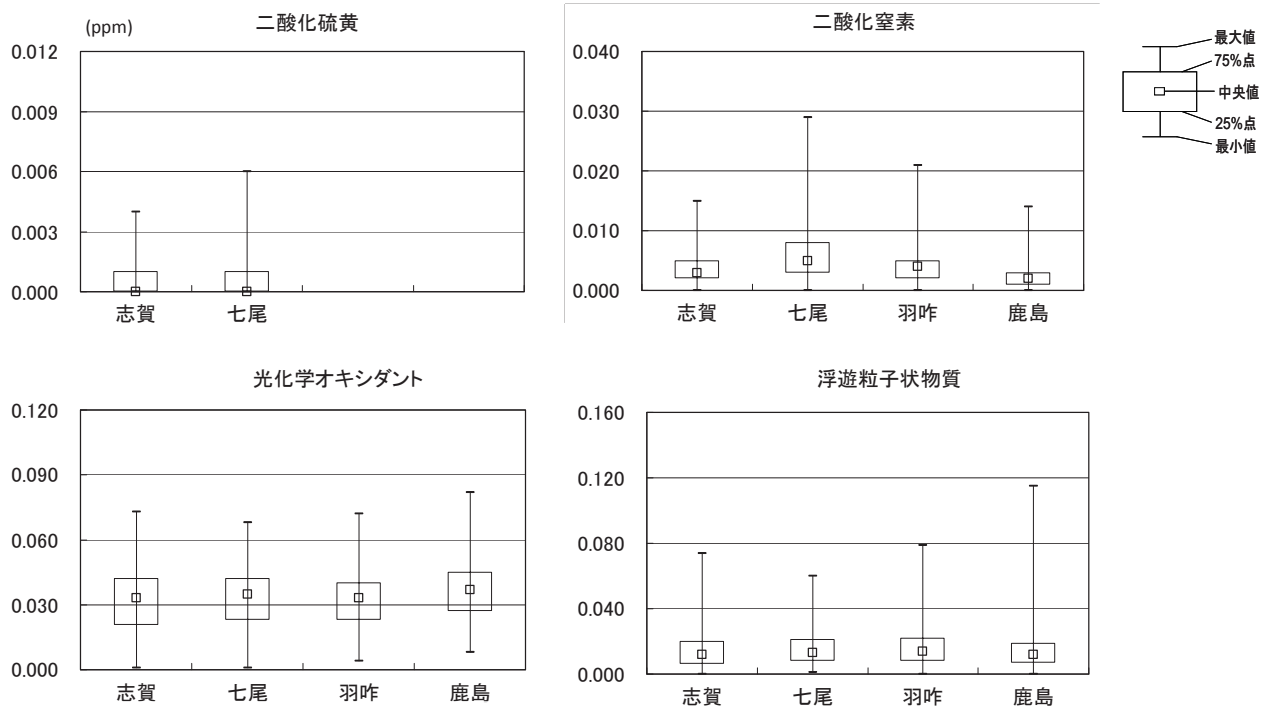


図3-2 近傍の一般環境大気測定局の測定値との比較

### 3 野々市太平寺測定点

野々市太平寺測定点は、野々市市内を通過する国道 157 号周辺の大気環境の状況を把握するため、国道 157 号から南側約 300m に位置する旧県立養護学校敷地内に設置した（図 3-6 参照）。

測定点周辺の状況は、市街地が広がり、南側約 150m に市立野々市小学校、東側約 450m に県道 179 号（野々市鶴来線）、東側約 1,200m に国道 8 号、南側約 900mm に県道 190 号（矢作松任線）がある。

測定結果については、表 3-6 のとおり、短期的評価による環境基準を達成しており、清浄な大気であると考えられる。

表 3-6 野々市太平寺測定点の測定結果

項目	測定結果			短期的評価
	1 時間値最高値	期間平均値	1 時間値最小値	
二酸化硫黄 (ppm)	0.012	0.001	0.000	○
一酸化窒素 (ppm)	0.106	0.005	0.000	—
二酸化窒素 (ppm)	0.046	0.010	0.001	○
一酸化炭素 (ppm)	2.6	0.3	0.1	○
光化学オキシダント (ppm)	0.040	0.025	0.001	○
非メタン炭化水素 (ppmC)	0.63	0.16	0.05	—
浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.059	0.007	0.000	○

また、測定結果を近傍の三馬測定局及び西南部測定局、松任測定局と比較した（図 3-3）。野々市太平寺測定点は比較した 3 つの測定局とほぼ同じ程度の濃度であった。

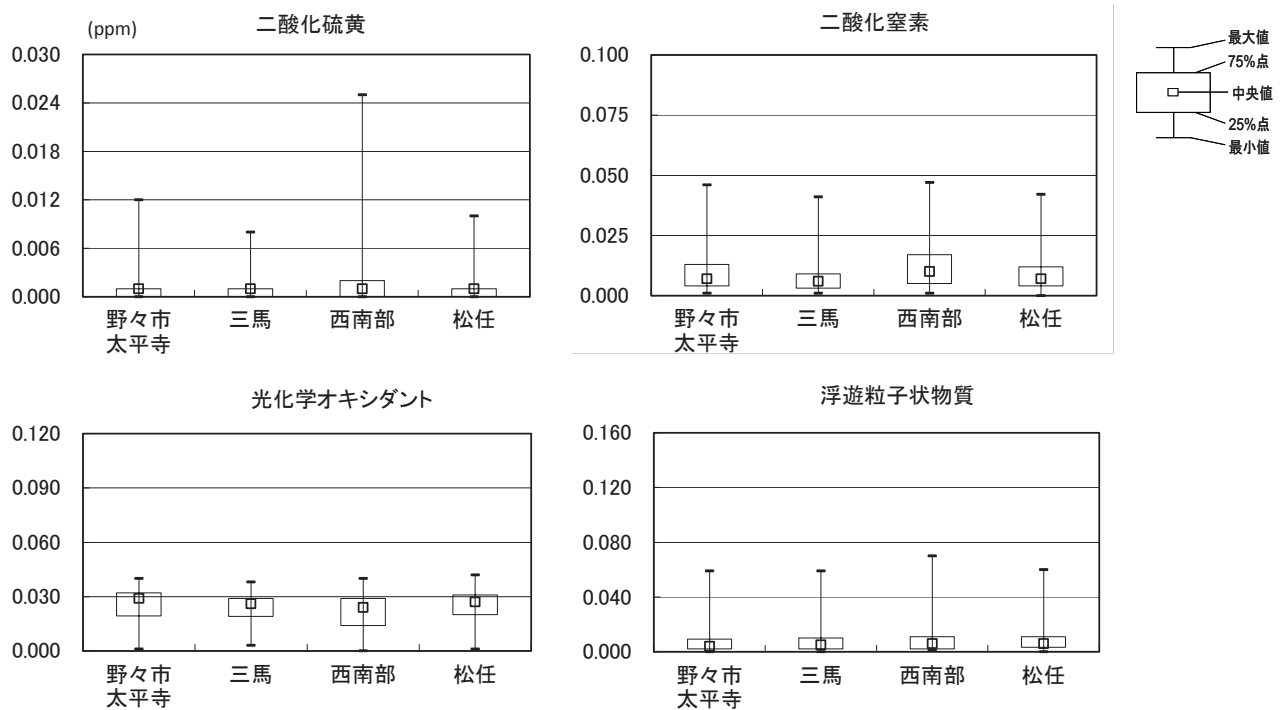


図 3-3 近傍の一般環境大気測定局の測定値との比較

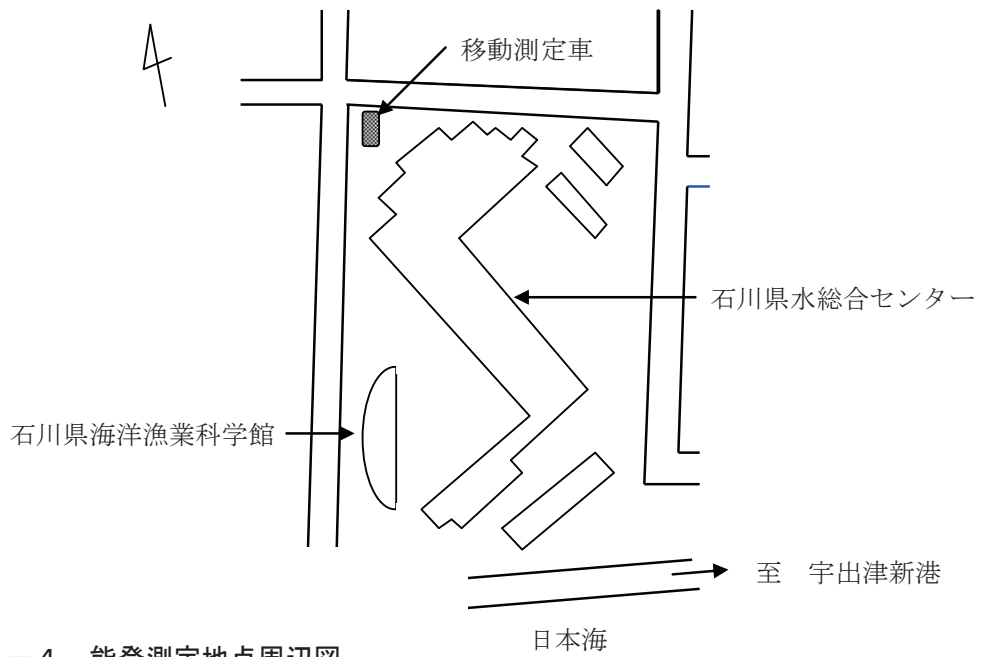


図3-4 能登測定地点周辺図

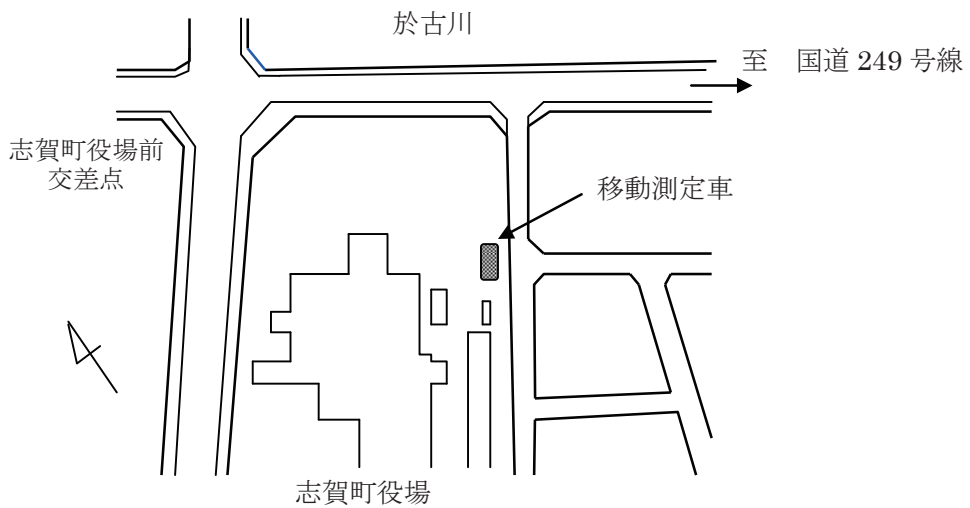


図3-5 志賀測定地点周辺図

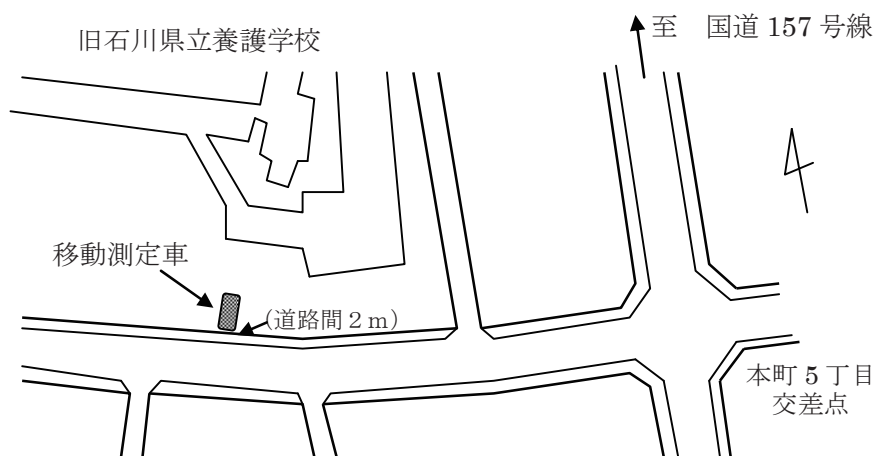


図3-6 野々市太平寺測定地点周辺図